



告 厚生労働大臣が定める傷病名、手術、処置等及び定義副傷病名の一部改正 (DPC/PDPS) 平成 27 年 8 月 31 日
厚生労働省告示第 354 号

【解説】同日付けの薬価基準改正（厚生労働省告示第 351 号）に伴い、「多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物」の診断群分類が改められました。

（本誌 2015 年 6 月号 p.82 左段最下行に下線部を挿入）

130040 多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物
手術・処置等 2

- ⑤ ボルテゾミブ
レナリドミド水和物
ポマリドミド
パノビノスタット乳酸塩

告 通 厚生労働大臣が別に定める者の一部改正／「厚生労働大臣が別に定める患者について」の一部改正 (DPC/PDPS) 平成 27 年 8 月 31 日
厚生労働省告示第 355 号・
保医発 0831 第 4 号

【解説】8 月 26 日の中医協で、DPC において出来高算定するものとして承認された高額薬剤が官報告示されました。

厚生労働省告示第 355 号

〔DPC 点数早見表 2014〕p.354／〔DPC 点数早見表 2015 増補〕p.382, 別表第 1〔26〕に下線部を挿入)

26	タラボルフィンナトリウム〔当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成 25 年 9 月 20 日に、旧薬事法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたもの及び平成 27 年 5 月 26 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限る）に係るものに限る〕	010010xx01x00x 010010xx01x01x 010010xx01x10x 010010xx01x2xx 010010xx01x3xx 010010xx97x00x 010010xx97x01x 010010xx97x1xx 010010xx97x3xx 060010xx01x3xx 060010xx01x4xx 060010xx02x3xx 060010xx02x40x 060010xx02x41x 060010xx97x3xx 060010xx97x40x 060010xx97x41x 060010xx99x30x 060010xx99x31x 060010xx99x40x 060010xx99x41x
----	--	--

〔DPC 点数早見表 2015 増補〕p.382, 別表第 1〔31〕に下線部を挿入)

31	アフリベルセプト (遺伝子組換え)〔当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成 25 年 11 月 22 日に、平成 26 年 9 月 19 日及び同年 11 月 18 日に、旧薬事法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたもの並びに平成 27 年 6 月 26 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限る）に係るものに限る〕	020180xx97x0x0 020180xx97x0x1 020180xx97x1x0 020180xx97x1x1 020180xx99xxxx 020210xx01xxxx 020210xx97xxxx 020210xx99xxxx 020350xx97xxxx 020350xx99xxxx 100060xxxxxxxx 100070xxxxxxxx 100080xxxxxx0x 100080xxxxxx1x
----	---	--

〔DPC 点数早見表 2015 増補〕p.384, 別表第 1 右段の最下部に挿入)

82	ペグインターフェロナルファー 2b (遺伝子組換え)〔当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成 27 年 5 月 26 日に、	全ての診断群分類番号
----	--	------------

	医薬品医療機器等法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限る)	
83	ボルテゾミブ〔当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成 27 年 6 月 26 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限る）に係るものに限る〕	130030xx97x2xx 130030xx97x3xx 130030xx97x40x 130030xx97x41x 130030xx99x2xx 130030xx99x30x 130030xx99x31x 130030xx99x40x 130030xx99x41x
84	エダラボン〔当該薬剤の添付文書において記載された効能又は効果（平成 27 年 6 月 26 日に、医薬品医療機器等法第 14 条第 9 項の規定により、既に承認された効能又は効果の変更について承認されたものに限る）に係るものに限る〕	010155xxxx00x 010155xxxx01x 010155xxxx10x

85	ニンテダニブエタン スルホン酸塩 (当該 薬剤の添付文書にお いて記載された効能 又は効果に係るもの に限る)	040110xxxx0xx 040110xxxx1xx	に係るものに限る)		剤の添付文書にお いて記載された効能又 は効果に係るものに 限る)			
86	パノビノスタット乳 酸塩 (当該薬剤の添 付文書において記載 された効能又は効果	130040xx97x5xx 130040xx99x50x 130040xx99x51x	87	レジパスビル アセ トン付加物/ソホス プビル (当該薬剤の 添付文書において記 載された効能又は効 果に係るものに限 る)	060295xx97x0xx 060295xx97x1xx 060295xx99x0xx 060295xx99x1xx	89	アンチトロンピン ガンマ (遺伝子組換 え) (当該薬剤の添 付文書において記載 された効能又は効果 に係るものに限る)	130100xxxx0xx 130100xxxx1xx 130100xxxx2xx 130100xxxx4xx 130130xxxx0xx 130130xxxx1xx
88	イピリムマブ (遺伝 子組換え) (当該薬		88	イピリムマブ (遺伝 子組換え) (当該薬	全ての診断群分類 番号			

保医発 0831 第 4 号

〔DPC 点数早見表 2015 増補〕 p.387 表の 9・14 枠目の「適応症」欄に下線部を挿入

告示番号	薬剤名	銘柄 (参考)	適応症	ICD-10 (参考)
26	タラポルフィンナトリウム	注射用レザフィリン 100mg	原発性悪性脳腫瘍 (腫瘍摘出手術を施行する場合に限る) <u>化学放射線療法又は放射線療法後の局所遺残再発食道癌</u>	C71\$ C15\$, D001
31	アフリベルセプト (遺伝子組換え)	アイリーア硝子体内注射液 40mg/mL アイリーア硝子体内注射液キット 40mg/mL	網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫 病的近視における脈絡膜新生血管 糖尿病黄斑浮腫	H348, H358 H353, H31\$ H360, E103, E113, E143

〔DPC 点数早見表 2014〕 p.356 表の最下部 / 〔DPC 点数早見表 2015 増補〕 p.389 表の最下部に挿入

告示番号	薬剤名	銘柄 (参考)	適応症	ICD-10 (参考)
82	ペグインターフェロンアルファ 2b (遺伝子組換え)	ペグイントロン皮下注用 50 μ g/0.5mL 用 ペグイントロン皮下注用 100 μ g/0.5mL 用 ペグイントロン皮下注用 150 μ g/0.5mL 用	悪性黒色腫における術後補助療法	(特定出来ない)
83	ボルテゾミブ	ベルケイド注射用 3 mg	マンツル細胞リンパ腫	C831
84	エダラボン	ラジカット注 30mg ラジカット点滴静注バッグ 30mg	筋萎縮性側索硬化症 (ALS) にお ける機能障害の進行抑制	G122
85	ニンテダニブエタンスルホン酸塩	オフェブカプセル 100mg オフェブカプセル 150mg	特発性肺線維症	J841
86	パノビノスタット乳酸塩	ファリーダックカプセル 10mg ファリーダックカプセル 15mg	再発又は難治性の多発性骨髄腫	C900
87	レジパスビル アセトン付加物/ ソホスプビル	ハーボニー配合錠	セログループ 1 (ジェノタイプ 1) の C 型慢性肝炎又は C 型代償性 肝硬変におけるウイルス血症の改 善	B182
88	イピリムマブ (遺伝子組換え)	ヤーボイ点滴静注液 50mg	根治切除不能な悪性黒色腫	(特定出来ない)
89	アンチトロンピン ガンマ (遺伝 子組換え)	アコアラン静注用 600	先天性アンチトロンピン欠乏に基 づく血栓形成傾向 アンチトロンピン低下を伴う播種 性血管内凝固症候群 (DIC)	D688, D65